

経営探訪

株式会社あきた総研

変化を強みに。
秋田発の人材ベンチャーが
繋ぐ未来

MANAGEMENT REPORT



株式会社あきた総研
〒010-0854
秋田県秋田市手形山崎町10-1
Mail. akita.career@gmail.com
http://akt-c.com

●創業 / 2013年(2016年に法人化)
●従業員数 / 7名
●業務内容 / 学生の就職相談、社会人の転職相談、企業の採用コンサルティング、研修、セミナー、講演、コワーキングスペース運営、インターンシップコーディネーター、各種ファシリテーション、商品開発、イベント企画

代表取締役
須田 紘彬
すだ ひろあき

“30歳までに起業する”

「小さい頃はちやほやされたいという理由で社長になりたかったんですが、大学時代の経験が経営をしたいと気づかせてくれました」。株式会社あきた総研の須田紘彬代表はそう笑う。東京で過ごした大学時代、サークル活動で大会運営に携わり、自分の力だけでは成し遂げられないことがチームの力によって実現できる楽しさを経験した。不可能を可能にする、ひとつのチームを作りたいという気持ちに気づいたという。

卒業後は“30歳までに起業すること”を目指し、多くの業界の“社長”たちと出会える仕事として、人材業最大手のリクルートに2年間勤め退職。その後、「日本と同様に政府が大国との関係維持に気遣いながら、同じくらいの国土面積で、人々がどのように豊かに暮らしているのか興味があった」というニュージーランドに、ワーキングホリデーで約1年滞在。旅人100人と話すという目標を掲げ、宿に住込みで働きながら、様々な価値観やマインドに触れた。

「国を出るか死ぬかを迫られ、亡命してきた人と話しました。自分の地元置き換えたら、視野が狭くなっているがゆえに死を選

んでしまう人がいるかもしれない、そう思い、秋田の未来を変えたいという想いが芽生えました。自分が地元でできることは、経験のある人材業だと考え、起業の準備を始めました」。

帰国後は独立を見据え、都内の人材派遣ベンチャーに就職。法務・広報・営業と、より専門的な知識を幅広く習得した。2013年、地方創生や働き方改革の声が聞こえ始めた時代の波をいち早く捉え、須田代表は28歳で帰郷。県庁内にある創業支援室を拠点に、個人のキャリア形成支援を軸とした秋田初の人材系ベンチャー、「秋田就職総合研究所」を設立した。

続けることが実績となる

「失業者にはハローワークがありますが、学生や転職希望者、再就職したい女性などが仕事について相談できる場や、求職者と、企業のキャリア採用の求人ニーズとをマッチングする組織が秋田にはなかった。すぐに利益には結びつかなくても、続けることがひとつの実績になると考え、社会的に必要とされることを地道に続けました」。始めの一年はアルバイトで生計を立てながら、市民活動などにも参加し人脈を築き、人材獲得には採用コストがかか

るといふことの周知にも取り組んだ。2016年には「株式会社あきた総研」として法人化。求職者のキャリア形成を第一に考慮しながら、従業員満足度を上げることで、社員が自分の会社に求職者を呼び込みたい会社作りのコンサルティングやインターンシップのコーディネートなど業務内容を拡大し、国からの事業受託や、行政からの事業相談を受けるようになった。また、仕事について考える機会として、学生と社会人が立場や年齢を超えて“働く目的”について語り合うコミュニケーションイベント「ハタモク秋田」を、須田代表個人がボランティアの一環として2014年から主宰している。



1・2 秋田大学そばの事務所兼コワーキングスペース“SDB”。イベントスペースとしても利用可能でオンライン環境も完備。

時代と環境に合わせた変化を

あきた総研が提案するインターンシップは、1か月間をかけて学生が企業の経営課題解決に取り組む。学生にとっては、成果を求められることで単なる体験や時給制の労働では得られない成長の機会となり、企業は学生から気づきをもらう好機となる仕組みだ。今年はインターンシップもオンライン開催となったが、「変化を恐れず、サービスや業態をすぐに変更できる柔軟さと瞬発力が小さな会社の強み」と須田代表が話すのとおり、予定していた講演やセミナー等のキャンセルの申し出に対して、オンラインでの開催を提案したところ、新規の依頼も舞い込んだという。

「学生には、会社説明会がオンラインになっているのはむしろチャンス、知らない業界でもとりあえずたくさん聞き、“興味がない”は知って初めて言える言葉だ、と話しています。企業にとっても同様で、変わらない会社は続かない。変化する時代だからこそ、今動いた人にチャンスがあると考えています」。

苦難の時代だからこそ、挑戦する意味がある。須田代表が作りあげたチームは、周囲の人たちを巻き込みながら、着実に秋田の未来を動かす力となっている。

3 社員にはリモートを含めた多様な働き方を推進。4 企業理念は「出会いが加速する」。